

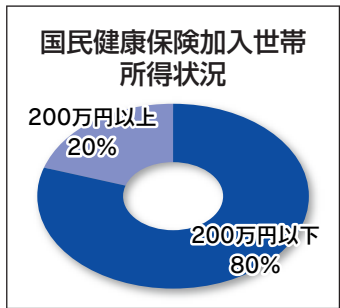
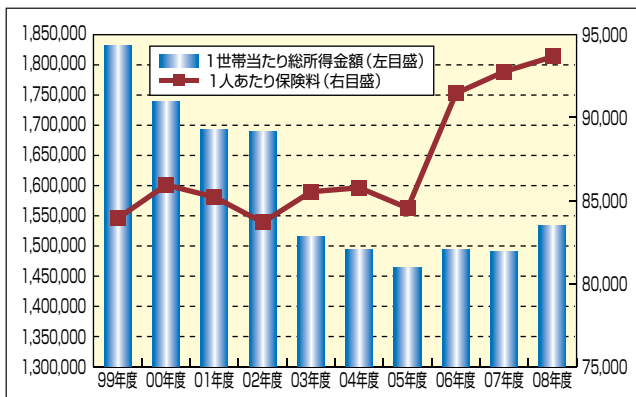
負担の限界 高すぎる保険料は引下げを!

いのちと健康を守るのが自治体の一番の仕事

保険料が払えず無保険に、命を落とす深刻な事例も……

低所得者にズシリ

加入者世帯の所得は年々減少する一方、国保料は引上げられていきます。県下市町村・九州主要都市の平均よりひとり1万円高くなっています。



国民健康保険加入世帯の8割は、年間所得200万円以下の低所得者です。生活の厳しい人に、高い保険料が押し付けられています。

8546世帯が無保険状態

熊本市は、病気の有無・経済状況など、

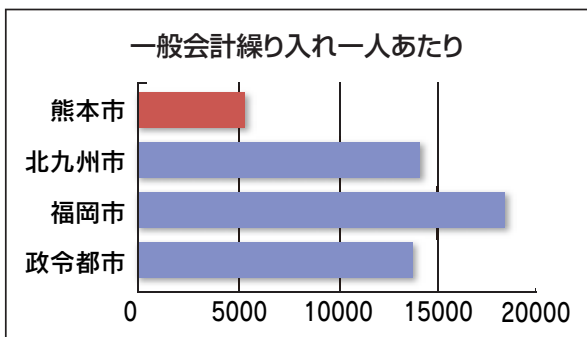
充分考慮することなく、一定の条件だけで機械的に短期保険証を交付、毎年2万件を超える短期保険証が発行されています。そのうち、8546世帯が更新ができず無保険となっています。

国民健康保険は、皆保険制度の一環です。保険証が手元がないのは違法です。保険証は無条件に交付して、高すぎる保険料の引き下げが必要です。

一般会計繰入れを政令市並にしてひとり年二万円の引き下げを!

負担能力に乏しい低所得者の加入が多い国民健康保険で、払える保険料にするためには、一般会計からの繰入れの増額が必要です。

法定外の一般会計繰入れ(赤字解消分・一人あたり)は、政令市平均1



万3800円に対し、熊本市はその半分以下の5288円しかありません。

少ない一般会計繰入れをせめて政令市なみに引き上げれば、ひとり1万円の値下げは可能です。

福岡市は値下げ実現

保険料引下げに足を踏み出す自治体も。福岡市では、2年連続で保険料を引き下げました。特に、今年度は、年間所得23万円の単身世帯で年3万7000円の大減額です。

金の切れ目が、いのちの切れ目に

2年前から失業中だったAさんは、保険料が払えず2年間無保険でした。9月に脳出血で倒れましたが、数日後に死亡。

もともと、高血圧でしたが、保険証が無いために、病院にかかることができず、薬局のくすりでも済ませていました。高血圧・糖尿病などの慢性疾患は、日常の管理が重要です。無保険が、命を奪っています。

日本共産党

09年12月号

熊本市議団 市議会だより

発行:日本共産党熊本市議団 熊本市手取本町1-1 TEL:328-2656 FAX:359-5047
メール:kumamsu@gamma.ocn.ne.jp HP: http://www5.ocn.ne.jp/~kumamsu/



ますだ牧子



上野みえこ



なすまどか